

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

- 現状: 東京都内全65駅のうち、ホーム上の安全対策として、令和元年度(2019年度)までに東横線、田園都市線、大井町線、目黒線の全43駅でホームドアの整備が完了しており、池上線、東急多摩川線は、全22駅でセンサー付固定式ホーム柵の整備が完了しております。目黒線については列車を6両編成から8両編成とする長編成化にあわせ、令和3年度(2021年度)までに2両分のホームドア整備が完了しており、令和4年度(2022年度)から供用を開始しております。
- 課題: センサー付固定式ホーム柵が整備されている池上線、東急多摩川線の駅の構造によっては、大規模なホーム改修、補修が必要になる可能性があります。
- 目標・取組の考え方: 10万人以上を優先的に整備、10万人未満についても、転落防止等の観点から必要性等を検討します。10万人以上である駅のうち五反田駅については、令和6年度(2024年度)までにホームドアを整備予定です。
※利用者数については平成31年度(2019年度)に公表している実績を基準としています。

②都内駅における各駅の計画

<利用者10万人未満駅>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (令和5年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
不動前	目黒線	令和元年度 ～令和3年度	・教育、福祉施設が集積している ・イベント施設が立地している	・各駅停車列車の停車駅	整備済
武蔵小山駅			・教育、医療、イベント施設が多数立地している ・福祉施設が集積している	・急行、各駅停車列車の停車駅	
西小山駅			・教育施設が多数立地している ・福祉施設が集積している	・各駅停車列車の停車駅	
洗足駅			・教育、イベント施設が立地している ・福祉施設が多数立地している	・各駅停車列車の停車駅	
大岡山駅			・医療施設が立地している ・教育施設が多数立地している ・福祉施設が集積している	・大井町線との乗換駅 ・急行、各駅停車列車の停車駅	
奥沢駅			・教育、福祉、イベント施設が立地している ・医療施設が多数立地している	・各駅停車列車の停車駅	
田園調布駅			・医療施設が立地している ・教育、福祉施設が集積している	・東横線との乗換駅 ・急行、各駅停車列車の停車駅	
多摩川駅			・教育、福祉施設が立地している	・東横線、多摩川線との乗換駅 ・急行、各駅停車列車の停車駅	

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (令和5年3月末時点)
目黒駅	目黒線	令和元年度 ～令和3年度	整備済
五反田駅	池上線	令和5年度～令和 6年度	未整備

2. エレベーター

①複数・乗換ルート整備に対する現状、課題、全体計画等

- 現状:複数・乗換ルート整備の状況等
- ・平成26年度(2014年度)までに東急線全駅でバリアフリールートの整備が完了しています。
- 目標・取組の考え方:
- ・道路や線路等で分断されている駅において、エレベーター整備等のバリアフリールートの複数化を検討しています。
 - ・駒沢大学駅については、複数ルート目のバリアフリールートとなるエレベーターを整備いたします。

②都内駅における各駅の計画

<2ルート目以降(複数・乗換ルート)>

駅名	路線名	事業期間	バリアフリールートの整備予定	優先整備の視点		備考
				駅周辺の特性	駅の特性	
渋谷駅	田園都市線 東横線	平成30年度～ 令和2年度	コンコース ～ 地上	・ビジネス、観光、イベント施設が集積している	大規模ターミナル駅	整備済
桜新町駅	田園都市線	平成30年度～ 令和2年度	コンコース ～ 地上	・観光施設が立地している ・教育施設が集積している	オリンピック、パラリンピック における観客輸送ルート駅	整備済
駒沢大学駅	田園都市線	令和3年度～ 令和5年度	コンコース ～ 地上	・観光施設、イベント施設が集積している ・教育施設が立地している	各駅停車列車の停車駅	

※灰色網掛けは整備済